

# “大井手”の環境

“ホタル”が見られるってホント？

はい、本当です！

美しい環境の  
シンボル  
“ホタル”



ボランティアとして多くの地域住民や地元企業の皆さんが清掃活動に参加しています。



平成8年5月に設置されたホタル看板。「大井手を守る会」の皆さんを中心に大井手の環境保全活動が続けられています。活動は、毎月第1日曜の早朝からです。お気軽にご参加ください！

## 大井手の環境保全活動

「大井手を守る会」渡邊幸助会長談話より

大井手は、井手という名のとおり、加藤清正によって人工的に掘削された農業用水路です。地域に住む方や中央区民の方には、やすらぎを与えてくれるふるさとの川であり、かけがいのない住民共通の財産となっています。

以前は、この大井手も都市化の進展のなかで、生活排水などが流れ込み、ドブ川といわれるまでに汚されたこともありました。現在のホタルが飛び交う大井手の姿は、地域の住民活動と、それに動かされた行政、さらに多くの団体や市民の後押しで実現したものです。この大井手を守り、子どもたちの世代に引き継いでいくのは、今に生きる私たちの大きな使命だと思います。

身近な清掃活動から  
参加してみようかな！

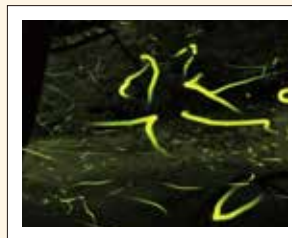


“ホタル”はいつ頃みられるの？

5月～6月頃です！

## ホタルはきれいな川のバロメーター

ホタルは、きれいな水にしか住みません。大人も子どもも皆で協力し、ホタルが住めるきれいな環境を守りましょう。中央区を流れる大井手もホタルが飛び交うきれいな川で保てるよう美化活動に努めましょう。



ホタルは5月～6月頃、大井手(渡鹿5丁目)沿いでみることができます。



大井手隣接の北原公園(渡鹿5丁目公園)内にあるホタル飼育施設。ここで育ったホタルが、毎春井手へ飛来します。

## “ホタル”の生態(せいたい)

ホタルは世界に2000種以上、日本では約50種が確認されています。多くのホタルは陸上に生息し、幼虫期を水中で過ごすのはゲンジボタル、ヘイケボタルなど数種です。

